

目的

小児等在宅医療の推進を図るため、区市町村が地域の実情に応じて実施する取組を支援する。

事業内容

区市町村が、地域の実情に応じて小児等在宅医療の提供体制を整備するため、関係各部署、関係職種及び関係機関と連携して実施する取組を支援する。

【基準額】 10,000千円

【補助率】 開始から3年間 10/10 4年目以降 1/2

＜取組例＞

- ① 検討の場の設置や地域における多職種連携体制の構築
(例) 医療・福祉・教育等の関係者で構成する検討会、協議会の設置等
- ② 対象者の実態把握、地域の医療・福祉・教育等資源の把握
- ③ コーディネーター、相談窓口の設置
- ④ 小児等在宅医療を担う医師、看護師、コーディネーター等、人材の確保・育成
(例) 研修の実施等 (座学による研修、医療的ケアの実技研修、現場実習等)
- ⑤ 家族に対する支援
- ⑥ その他小児等在宅医療の推進を図るために必要な取組

東京都における取組

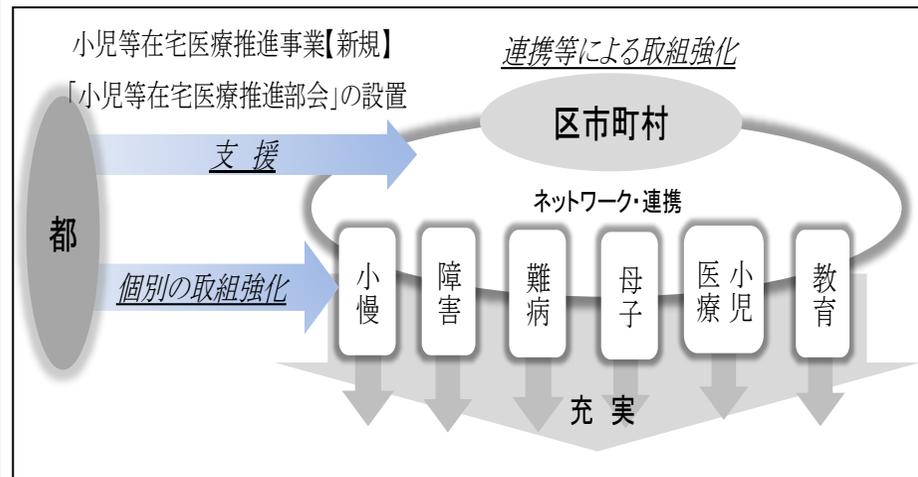
＜小児等在宅医療推進部会の設置＞

関係部署(障害、難病、小児慢性、母子保健、小児医療、教育等)、関係機関、区市町村、有識者等による会議を設置し、小児等在宅医療の推進を図る。
※在宅療養推進会議の部会として実施

＜各分野の個別施策・取組の充実＞

各分野の個別施策・取組を充実し、各々の対象者への支援を強化

取組のイメージ



区市町村における連携

